

2017年2月23日

岡田大使のセントルシア訪問：  
無償資金協力「経済社会開発計画」及び  
草の根・人間の安全保障無償資金協力に関する署名式の開催  
(セントルシア)

2月23日、セントルシアの首都カストリーズ市の首相府にて、無償資金協力「経済社会開発計画（防災）」並びに草の根・人間の安全保障無償資金協力案件2件「ヴィクトリア病院医療機器整備計画」及び「セント・ジュード病院救急車整備計画」の署名式が行われました。

セントルシア政府は、経済社会開発計画を通じて日本政府から2億円（約170万米ドル）の無償資金を受け取り、日本の防災資機材を調達することにより気候変動に適應する能力の強化を図ります。ヴィクトリア病院及びセント・ジュード病院は、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、日本政府から合計約2千万円（161,679米ドル）の無償資金を受け取り、医療機器（生体情報モニタ8台、新生児保温器2台、保育器3台）及び救急車の整備を行うことにより、救急医療能力の向上を図ります。

本式典は、在セントルシア日本国大使館（在トリニダード・トバゴ日本国大使館が兼轄）の岡田光彦大使及びセントルシアのアラン・シャスネ首相、ベレナ・カルデロン保健省次官補、ヴィクトリア病院のジャネット・ヒューズ経営責任者、セント・ジュード病院のアリック・モンデシエ理事長、並びに関係者の出席の下、開催されました。

岡田大使は、挨拶の中でセントルシアの第38回独立記念日への祝意を述べるとともに、署名式へのシャスネ首相の出席に感謝の意を表しました。また、日本が近年、カリコム諸国への支援の柱として、防災を含む気候変動への緩和・適応策を掲げていることに触れ、小島嶼国への開発協力の重要性を指摘しました。

シャスネ首相は、日本から同国への多岐にわたる経済協力及び技術協力、特に水産分野及び気候変動適応分野への支援に感謝すると述べました。また、日本が各国に気候変動適応の重要性を呼びかけ、カリブ海小島嶼国に対して支援を行っていることに関し、日本のリーダー・シップを歓迎し、気候変動分野での協力を期待を示しました。

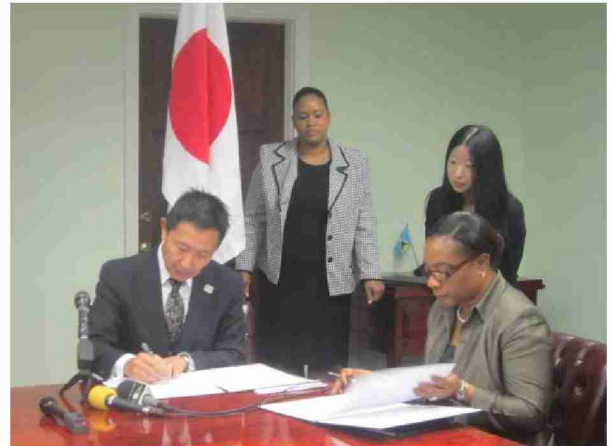
お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

また、カルデロン保健省次官補は、同時に署名を行った草の根・人間の安全保障無償資金協力に関し、日本国民に感謝の意を表し、ヴィクトリア病院は新しい新生児用医療器具及び生体情報モニタ、セント・ジュード病院は救急車をそれぞれ活用し、両病院で治療を受ける患者へのサービス向上に繋がりたいと述べました。

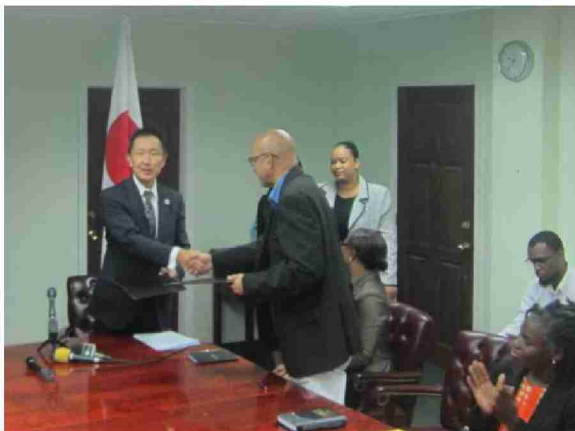
日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する開発支援を実施していきたいと考えています。



経済社会開発計画の書簡に署名する  
岡田大使(右)とシャスネ首相(左)



草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名を行う岡田大使(左)と  
ヒューズ・ヴィクトリア病院経営責任者(右)



草の根・人間の安全保障無償資金協力の署名後に握手を交わす  
岡田大使(左)とモンデシエ・セント・ジュード病院理事長(右)



左からカルデロン保健省次官補、バーナード経済・運輸・民間航空省次官補、  
フロッド=ボブラン外務担当大臣、シャスネ首相、岡田大使、ヒューズ・  
ヴィクトリア病院経営責任者、モンデシエ・セント・ジュード病院理事長

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp